

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

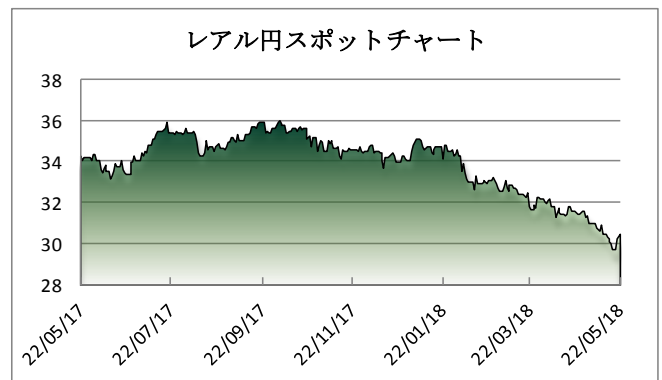
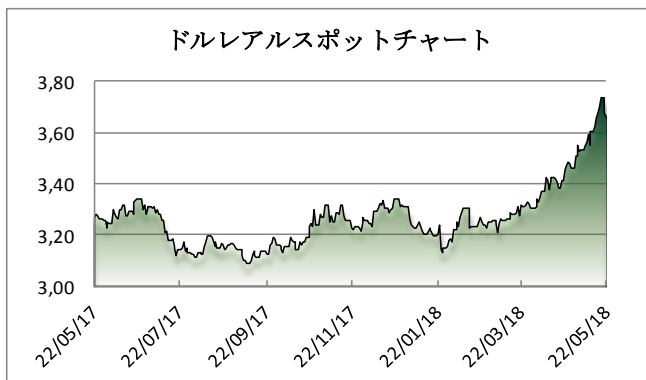
昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀の介入姿勢を好感し引き続きレアル買いが優勢となり、一時3.62台後半までレアル高が進行した。中銀は昨日COPOM議事録(15-16日開催分)を公表し、今回の金利据え置きは、「外部ショックの拡大がインフレリスクを増大させたため」との見解を示している。この他、①グローバルな経済シナリオは困難な状況になっており、インフレ率が目標下限に留まる可能性が低下している、②中銀はインフレ率の副次的影響に基づいて行動する、③中銀が為替水準の変化に対して「自動的に」反応することはない、④為替水準がインフレ率に与える影響度合いは、経済の緩みやインフレ見通しに依存する、⑤中銀が発していた最近のシグナルは追加利下げであるが、金融政策に対する長期的な信認を考慮した結果、最善の選択を行った、⑥インフレ見通しは依然として中銀にとって良好な状態にある、と指摘している。

1980年代に中銀総裁を務めたCarlos Langoni氏は昨日、足許のレアル安について、「現在の反応は一時的であり、外貨準備を使用して通貨を支えることに意味はない」とコメント。また、大統領選を予想することは非常に難しく、「それはつまり、10月までレアル相場が影響を受け続けるということの意味している」と述べた。なお、米国の金利正常化も引き続き相場を主導する要因であると強調している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	5月21日	5月22日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,6778	3,6481	-0,81%	6,89%	3,1210	3,7764
	対円	JPY	30,21	30,40	0,63%	-3,62%	35,13	29,41
	対ユーロ	BRL	4,3340	4,2968	-0,86%	2,46%	3,8531	4,4391
円	対ドル	JPY	111,05	110,90	-0,14%	3,01%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	130,94	130,62	-0,24%	-1,25%	128,36	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	81.815	82.739	1,13%	-3,29%	88.318	76.403
CDS Brazil 5yrs		bps	196,70	192,77	-2,00%	13,81%	205,41	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	10,55	10,71	1,52%	9,65%	10,71	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,64	6,59	-0,75%	5,95%	6,94	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3300	2,3300	0,00%	-1,24%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	205,69	206,20	0,25%	2,12%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。